

報 寺 敬 覚

11 月号

月刊 ● 敬覚寺報

〒177-0032 東京都練馬区谷原6-8-12
TEL 03(3996)1833 大江義宏

ジャワ島中部、首都ジャカルタより南東四二〇kmにあるプランバナン寺院群は、十世紀頃建設されたとされています。寺院群はオバック川のほとりに位置し、遠方からでも平野の上壇状に盛り上がるようにそびえる建造物を見ることが出来ます。中央に高さ四十七メートルの尖塔を持つシブア堂が、そびえ立ち、その右左に、共に二十三メートルのプラフマー堂とヴィシユマ堂が従う構造になっています。この建造物と、その壁面を彩る彫刻群は、宗教的な息吹と共に美術的にも重要な意味を持つものです。何れも大切な事はこれ等の寺院群が一五四九年の地震で大きな被害を受け、以後何世紀にも亘って瓦礫の山と化してしまっただけです。石材は他の建築に転用されたりもしてしまいました。一九三七年、復元工事が始まり、復元工事が完了した。ほぼ四百年の時が経って、復元工事は完了しました。文化遺産は引き続き、復元工事も力を

うけつがれるもの うけついでいく心

— 世界遺産 —



復元工事の終わったプランバナン遺跡

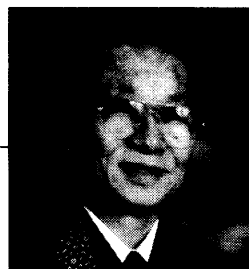
● インドネシア共和国
プランバナンの
ヒンドゥー教寺院群

▼二〇〇二年十一月一日▲

ハワイ開教・その感動

ハワイ開教区アイエア本願寺住職

川路 広美



皆さん方は、もう御存知と思いますが、ハワイには病院の外に、全く回復の見込みのない患者だけを世話する施設があります。その施設に送られるという事は、死ぬ日が近い事を意味します。最近の私の仕事は、そのような患者や、患者の家族からの質問や相談で多忙を極めています。意識がはっきりしていて、死ぬ日を待っているだけの患者との会話はとても悲しくつらいです。

夜中に急に電話がかかり、急いで見舞いに行きますと、家族の方が入口で待っておられて「先生、今夜が危ないとの事です。それで」と患者に気付かれないように事情を説明される事があります。病床を訪れても何の手助けも出来ないのですが、依頼の電話がかかってきますと断りきれずに病床へ向かいます。時には同じ日の同じ時間に電話がかかり、大変困る事もあります。

もう大分前の事です、真夜中に電話がかかり、急いで患者の部屋を訪れたのですが、「先生！丁度今、亡くなりました」というような時もあった、どうしようもない念いに追いやられた事がありました。そんな時に私の胸に安らぎをもたらしたのは、親鸞聖人の正像末和讃（悲歎述懐讃）

「小慈小悲もなき身にて、有情利益はおもふまじ如来の願船いまさずば 苦海をいかでかわたるべき」の一首でした。

それから間もなくして、私はこの和讃の中の一行「如来の願船いまさずば」を題にして一冊の本を出版しました。日英両語で、漢字には読みやすいように「かな」をつけました。そして、見舞いに行けない方々にさしあげました。もう三年間も続けていますが、その間に多くのすばらしいお念仏の友に別れ、淋しい念いの此の頃であります。それだけに、また一層浄土真宗のみ教えに遇えた慶びが実感され、親鸞さまがなつかしい限りです。

私は最近特に思う事がありますが、大無量寿経や、教行信證や、歎異鈔などが書き残されていないから、今日私はどのような人間の日暮らしを営んでいた事だろうか。と。そして私自身がこの世で遇えない人々と、どういう方法で浄土真宗のみ教えを慶びあう事が出来たであろうか。と。未だお会い致した事のない皆様方に念いを寄せて感謝と感動で胸がいっぱいです。

今年も早十一月となり、来月号を以って、二ヶ年に及んで寄稿させていただきました務めを終了致す事になります。最終の十二月号で要点をまとめさせていただきますが、今の私の心境は一人でも多くの方々が、浄土真宗のみ教えを聞信されて、悲劇や苦難や不安の中で明け暮れる末法の世を、迷信にとらわれず、心安らかな日々にしていただきたいと願うのみです。



仏説無量寿経(大経)〔その3〕本願

ぶつ せつ む りよう じゆ きよう ほん がん

経子◇「大経」の翻訳者と、お経

を説いた場所についてお話を伺いましたが、今日はその内容を教えてください。

住職◆「大経」はその名の通り大きいお経ですよ。親鸞聖人は「大無量寿経・真実の教・浄土真宗」と言われます。

経子◇「大経」そのものが浄土真宗なので。聖人が著された「顕浄土真実教行証文類」略して「教行信証」に「大経」の大意が示されています。

住職◆「大経」といわれるくらいですから長いでしょう。

経子◇いやいや、複雑なものを単純に説明することこそ本物ですよ。「教行信証」を拝見しましょう。漢文ですから、訓読しますよ。

住職◆「この経の大意は

弥陀 誓いを起発して広く法倉を開きて 凡少を哀れんで選んで功德の宝を施することを致す 釈迦 世に興出して道教を光闡して群萌を拯い 恵むに真実の利をもって せんと欲すなり」とあります。

経子◇はい。お願いします。

経子◇えーと、ちょっと難しいけれど、阿弥陀如来と釈迦如来が私たち凡夫を哀れみ、恵んでくださる真実の教えということですか。

住職◆おお、全くその通りです。良く聞く人はすばらしいね。

経子◇はずかしいわ。

住職◆続けましょう。「ここをもって如来の本願を説きて経の宗致とす すなわち 仏の番号をもって経の体とするなり」

経子◇阿弥陀さまのご本願と南無阿弥陀仏のお名号が表されているのですね。

住職◆本願と名号こそ浄土真宗の

かなめです。これが「大経」に説き尽くされているのですよ。

経子◇本願は「本当の願い」ということでしょうか。

住職◆うーん。仏教という本願は単に本当の願いというだけでなく、仏や菩薩が悟りの修行をしていた時に起こした願いを指し、根本の願い、真実の誓いを「本願」と仰ぎます。

経子◇では阿弥陀さまの本願は、完成した願いなのですね。

住職◆そう、私たち一切の衆生を救うために完成された願いが「大経」に示されます。

経子◇私の願いは本願とはいえないわけですか。

住職◆あなたが真実の誓いをたてそれが完璧にできあがったならね。できますか。

経子◇あやしいです。私には不可能です。本願が仏さまの願いであることがよくわかりました。

住職◆「大経」には、阿弥陀如来の本願がなぜ、誰に、どのように起され働くか、その原因と結果(因果)生起本末が、あますことなく説かれて

いるのです。

経子◇「他力本願」は如来の本願だから「他力」ですね。

住職◆そうですね。「本願」が他力で「他力」が本願です。「本願他力」「本願力」ともいいます。

経子◇お任せできる力ですね。

住職◆「大経」の最初に、お釈迦さまがこれから説く教えは群萌を救うためだと言われ 私たち凡夫こそ、本願の対象者であることを示されているのですよ。

経子◇私のための「本願」ですか。ありがとうございます。

■報恩講コンサート

「親鸞聖人を讃えて」と題して築地本願寺楽友会コンサートが開かれます。音楽法要、オルガン曲、仏教讃歌等が楽友会管弦楽団、合唱団、オルガン、シンセサイザー等で演奏されます。法話もごさいます。皆様おさそい合わせの上ご参加下さい。

時・十一月十一日(月)

五時半開場 六時開演
所・築地本願寺本堂

お問合せは電話〇三―三五四一―一三二
楽友会事務局まで

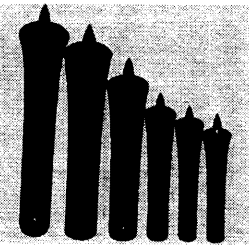
■本願寺出版社の本、カセットテープ、ビデオ

- ・日常勤行聖典(本) B 6版 250円
 - ・歎異抄(現代語版)(本) B 6版 800円
 - ・れんによさん(マンガ) B 5版 500円
 - ・親鸞さま(マンガ) B 5版 700円
 - ・お釈迦さま(マンガ) B 5版 700円
 - ・マンガ仏教入門 A 5版 800円
 - ・お釈迦様(アニメ) 30分 9300円
 - ・極楽浄土(アニメ) 30分 9300円
 - ・子どもたちよ(アニメ) 30分 9300円
 - ・大きな願い(アニメ) 30分 9300円
 - ・浄土真宗本願寺派勤行集 CD、カセット 共 2500円
- (いずれも消費税別)

一冊からでも申し込み出来ます。
本願寺出版社

電話〇七五―三七一―四一七二

お仏具を考える



◆木 蠟(もくろう)◆

常立(じょうたて)とも申します。読んで字のごとく、木で出来たローソクのことです。お寺の本堂の、御本尊の前には三具足と申します。花立、香炉、火立が置かれています。花立には花が絶やされることはありませんが、火立は普段法要等の無い時はローソクをともすことはしません。ローソクをつけっぱなしにすることは危ないからです。そこで、木で出来たローソクを朱色で塗り、常に立てておく様になりました。常に立てておくから常立とも申します。ご法要の無いおりに本堂をのぞいて見ると火立の上には朱色のローソクの型をしたものが差されているはずで。

これを小さくした物が、在家用の木蠟です。本物のローソクに火をともし時には、木口ウをはずして、火立の元に置く様にします。おまいりが終わって火の消えたことを確認してから、木口ウを火立に差しおきましよう。常に火がともされているという意味になります。

日常に使う仏教語

■愚痴・意地・餓鬼

お隣の奥さんが愚痴をこぼしています。「うちの子ったら、まるで意地が無くて、近所のガキ大将にちよつと意地悪されただけで、遊びにも出ないのよ」

愚痴―仏教は貪欲、瞋恚、愚痴を三毒の煩惱と名づけます。欲と怒りと愚かさです。口に出しても詮無いことを「愚痴がこぼれる」というのは、愚かな煩惱がある証拠でしょう。

意地―仏教で人間の知覚作用を六種挙げます。眼・耳・鼻・舌・身・意です。この六番目の意識が起る場所を意地といいます。意地つ張り、意地汚い、意気地無し、意地悪などと使われますね。

餓鬼―人間界の下に悪業の報いとして、畜生・餓鬼・地獄という三悪道の世界を説きます。餓鬼は常に飢えて苦しむというので、子供を卑称して「この餓鬼が」と言ったりします。その餓鬼どもの頼もしい統率者が餓鬼大将です。